

# 新代田地区防災計画

[平成29年作成]

## 【目次】

### 1. 新代田地区の特性

(1) 自然特性	1
(2) 社会特性	2
(3) 被害想定	4
(4) 防災資源	6

### 2. 新代田地区の課題と今後の取り組み

■ 1班（大原北町会・大原西町会エリア）	7
■ 2班（代田北町会・羽根木町会（西側）エリア）	10
■ 3班（代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会エリア）	13
■ 4班（代田4丁目町会・根津山会・羽根木町会（東側）エリア）	16

### 3. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～集計表（平成27年9月現在）

#### 【新代田地区防災計画作成団体（防災塾参加団体）】

代田4丁目町会	代田北町会
根津山会	大原南町会
代田東町会	大原北町会
代田南町会	大原西町会
守山町会	羽根木町会

# 1. 新代田地区の特性

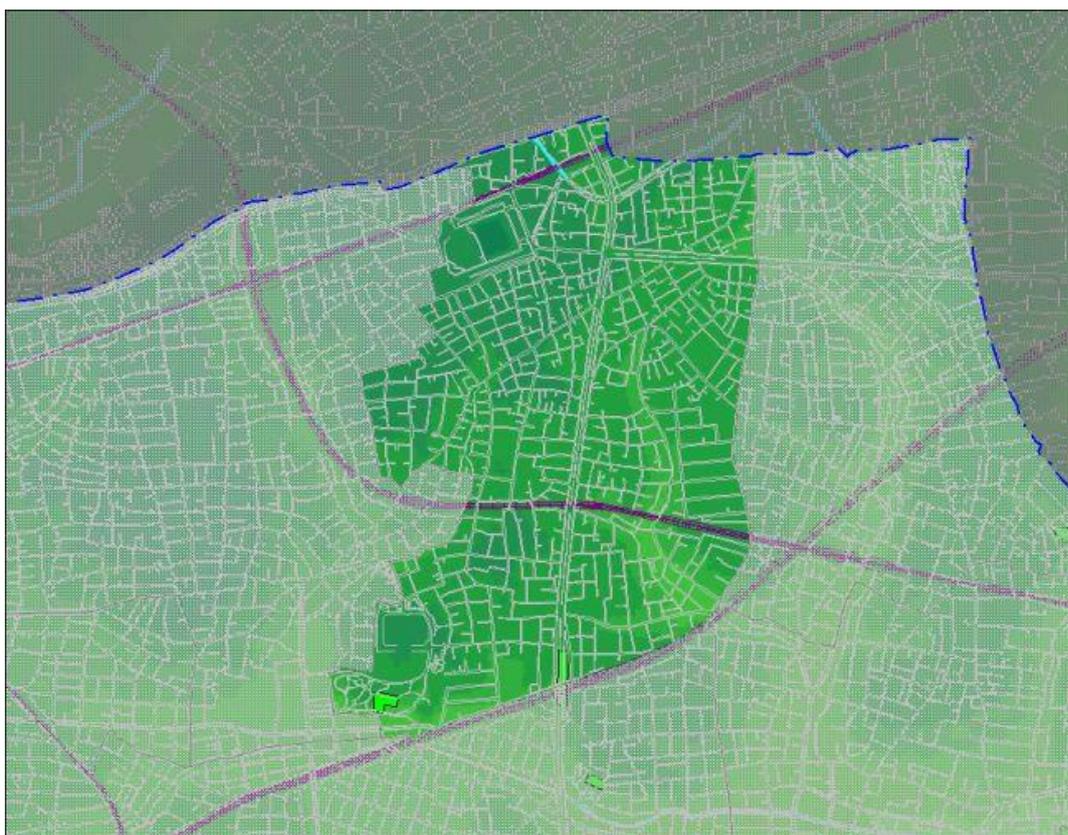
## (1) 自然特性

面積	1.42	Km <sup>2</sup>
----	------	-----------------

### 位置



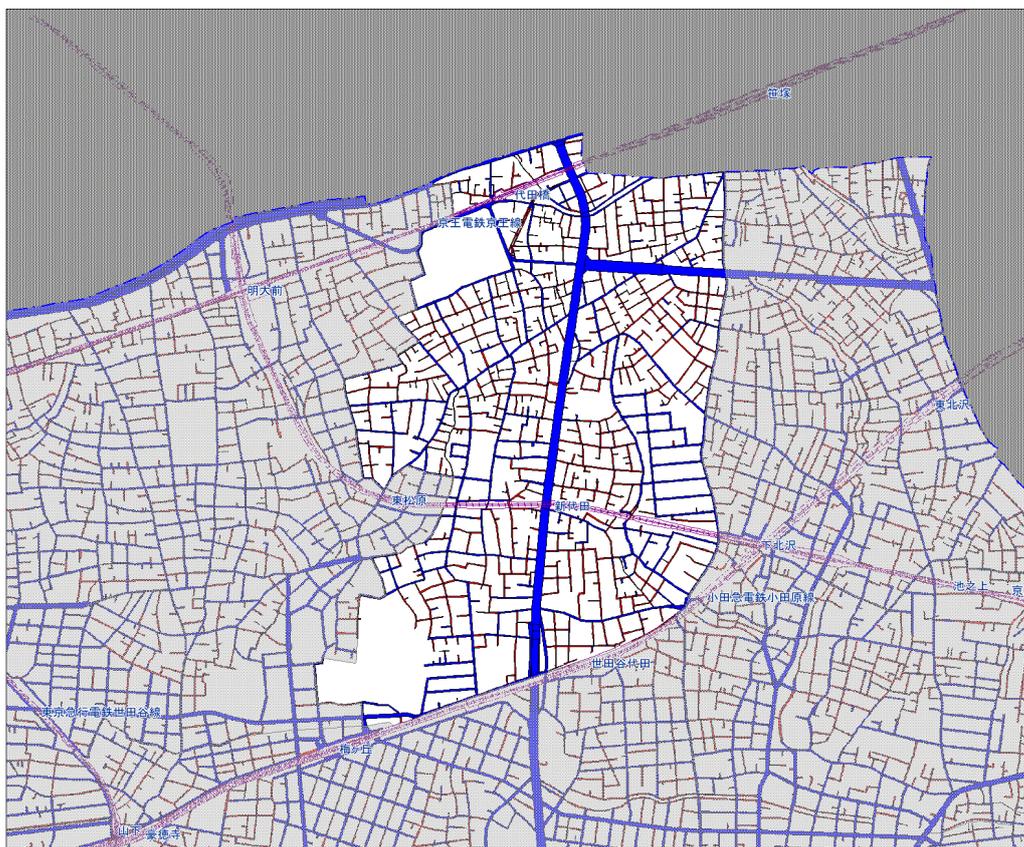
### 標高・急傾斜地



## (2) 社会特性

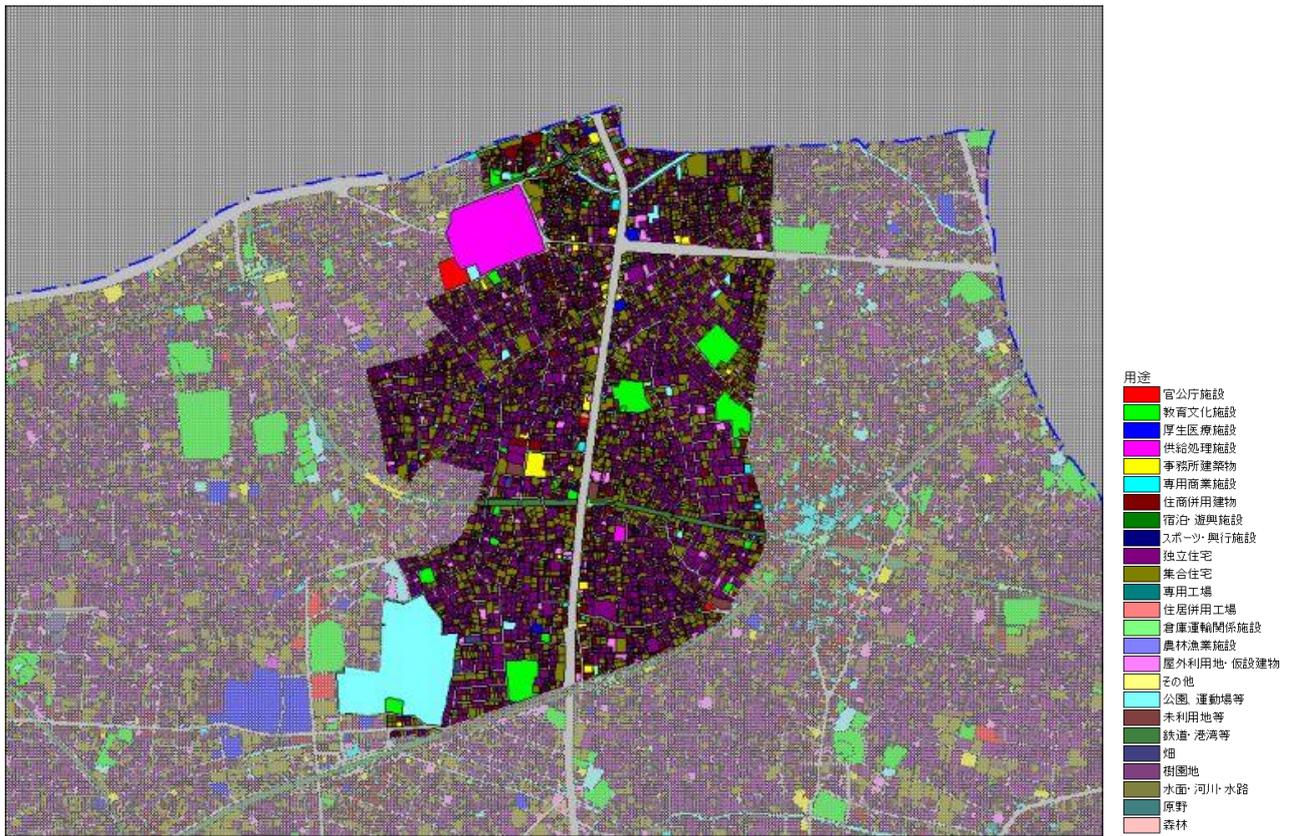
人口	24,482 人	細街路率	55.0 %	
世帯数	14,886 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	164.2 棟/Km <sup>2</sup>	
1世帯あたり	1.64 人	耐火率	61.1 %	
若年層数(15才未満)	1,830 人	土地利用(宅地)	71.3 %	
若年層率(15才未満)	7.5 %	土地利用(宅地以外)	28.7 %	
高齢者数(65才以上)	4,849 人	鉄道駅	京王線代田橋駅 京王井の頭線新代田駅 小田急小田原線世田谷代田駅	
高齢者率(65才以上)	19.8 %			
昼間の人口	14,030 人	産業	商業	82.4 %
夜間の人口	25,400 人		工業	14.5 %
昼夜間人口比	0.55 -		農業	3.1 %

### 道路・公共交通機関



## (2) 社会特性

### 産業



世田谷区の町丁別人口と世帯数 平成28年1月1日現在  
町丁別昼間人口(推計) 平成22年国勢調査 世田谷区 平成25年6月  
平成23年度土地利用現況調査データ 平成24年2月

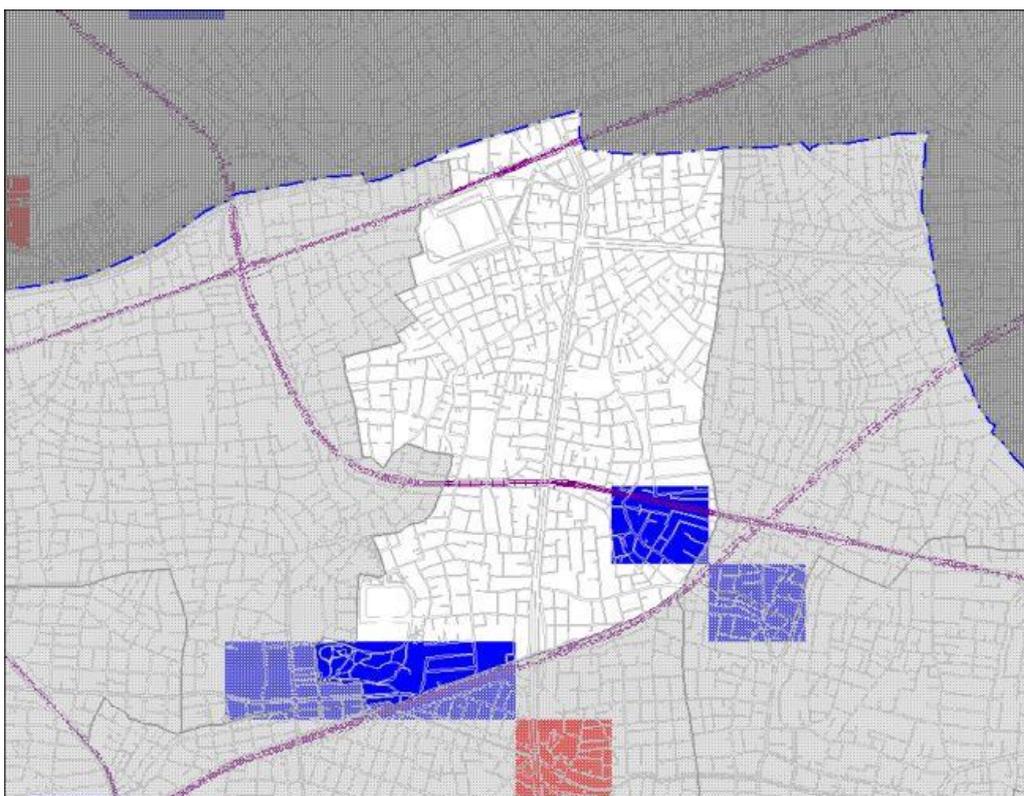
### (3) 被害想定

全壊棟数	201 棟	死者	28 人
半壊棟数	578 棟	負傷者	321 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	1,180 棟	うち重傷者	59 人

#### 震度分布

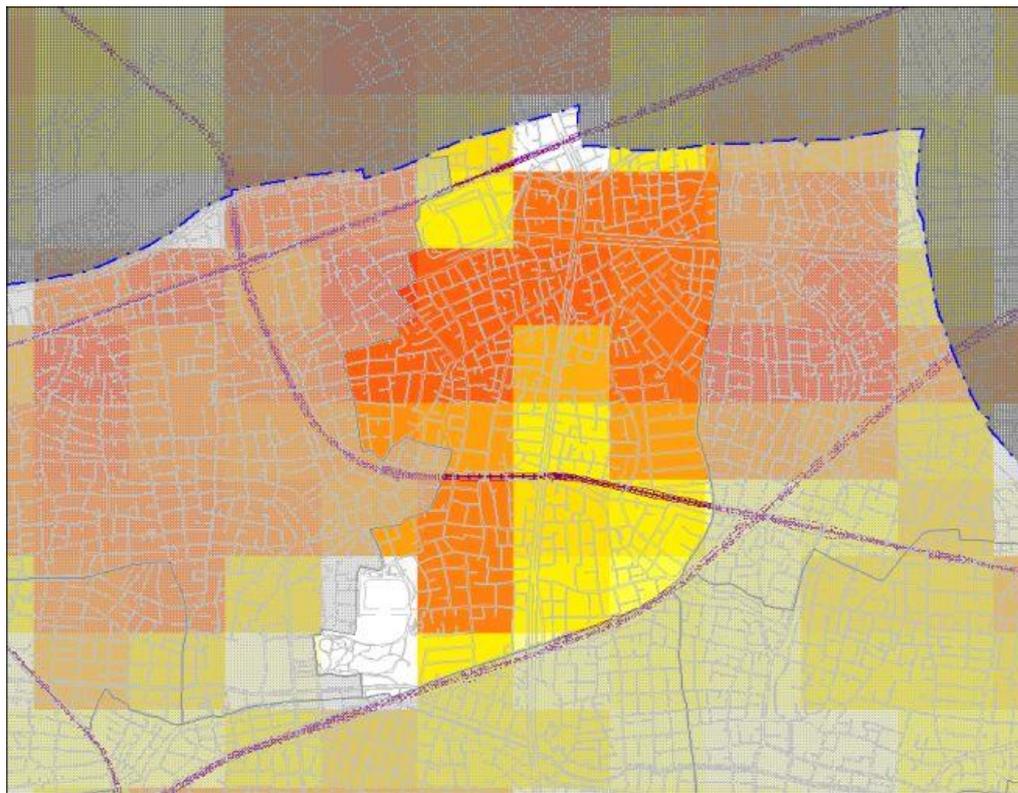


#### 液状化分布



### (3) 被害想定

#### 被害棟数分布

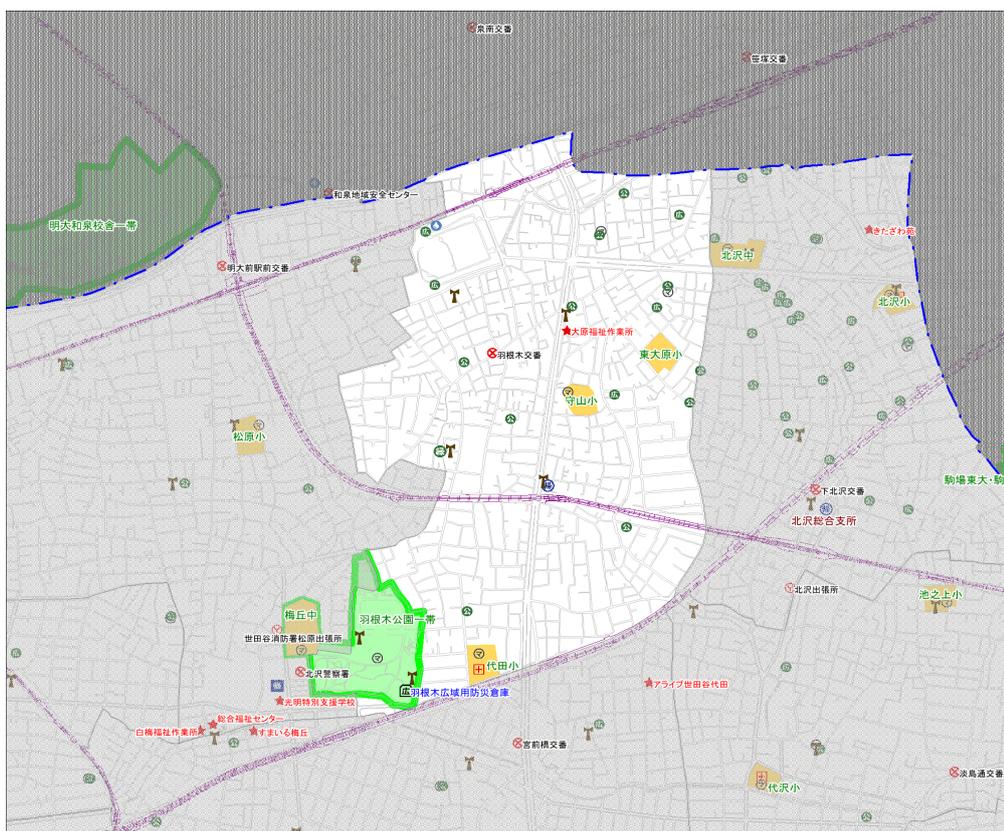


首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表  
世田谷区防災マップデータ 平成26年5月26日現在  
マンホールトイレ設置場所 平成28年3月31日現在

## (4) 防災資源

広域避難場所	羽根木公園一帯		
指定避難所	代田小学校 下北沢小学校 北沢中学校		
福祉避難所	大原福祉作業所		
医療救護所	代田小学校		
東京都災害拠点病院	至誠会第二病院 関東中央病院 松沢病院		
東京都災害拠点連携病院	世田谷下田病院 大脇病院 国立成育医療研究センター		
帰宅支援ステーション		帰宅困難者支援施設	1 ヶ所
マンホールトイレ	5 ヶ所	防災無線塔	6 ヶ所 緑地 1 ヶ所
輸送拠点			
給水拠点	和田堀給水所		
広域用防災倉庫	羽根木広域用防災倉庫		
警察署・交番	羽根木交番		
消防署	世田谷消防署松原出張所 世田谷消防署北沢出張所		

### 防災資源



- 広域避難場所
- 避難所
- ★ 二次避難所(福祉避難所)
- 医療救護所
- 東京都災害拠点病院
- 東京都災害拠点連携病院
- 帰宅支援ステーション
- 帰宅困難者支援施設
- マンホールトイレ
- 防災無線塔
- 緑地
- 公園
- 身近な広場
- 輸送拠点
- 給水拠点
- 広域用防災倉庫
- 災害時着陸候補地
- 警察署・交番
- 消防署